



雨が降る肌寒い、国体初日となった。少年男子A100m後藤達樹(崇徳高2)、同ハンマー投迫田力哉(西条農高2)(自己新記録)があと少しというところで8位入賞を逃し、9位と惜しい結果となった。また、成年男子三段跳で、全日本インカレ2位の安立雄斗(福岡大1)も10位となり、悔しい結果となった。しかし、少年2名は共に2年生、安立も大学1年生という事で、今後の飛躍に繋がることを期待したい。少年女子共通800m上田万葵(舟入高3)は5日の決勝に順調に残った。明日の活躍に期待したい。

ウォーミングアップ!



天候は朝から不順ではあったが徐々に天気が良くなった2日目、多くの選手が活躍した。まずは、成年男子100mは松尾隆雅(東洋大3)が2位、女子湯浅佳那子(日体大4)が優勝(広島県記録)のダブル入賞である。2人は地元広島を大切にし、中学・高校時代から継続して国体に参加している選手である。全日本インカレでも100m2位・優勝となり、その勢いのまま、今回が個人種目初入賞となった。また、少年女子共通800m上田万葵(舟入高3)が個人3度目の入賞となる6位、少年男子A400mH栗林隼正(国際学院高3)が準決勝で自己記録を更新し、8位に入賞した。

## 高校・中学優秀指導者章!



# 「頑張れチーム広島」茨城 国体にて

第74回国民体育大会  
いきいき茨城ゆめ国体 2019

令和元年9月28日(土)~10月8日(火)

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

第19回全国障害者スポーツ大会  
いきいき茨城ゆめ大会 2019

令和元年10月12日(金)~10月14日(月)

ONE TEAM!!

若い力!  
期待ができるぞ!

この経験を  
活かすよ。

↑いきいき茨城ゆめ国体2019マスコットキャラクター「いばラッキー」

**3日目**  
2019.OCT 6

**躍動② DAY**

**4日目**  
2019.OCT 7

**新記録 DAY**

インターハイで惜しくも入賞を逃した選手たちの活躍について紹介したい。少年男子A乃美裕介(尾道北高3)はインターハイでは、けがのため入賞を逃した一人である。今回も公式練習中に膝を痛めたが、気持ちで勝ち取った7位入賞である。少年女子B100mH浅木都紀葉(広島皆実高1)はインターハイ準決勝に進出し、1年生ながら決勝まであと少しと迫った選手である。昨年度、同種目で3位となり、今年は2位と2年連続で入賞した。来年度100mHは無くなるが、今後も期待のできる選手である。少年女子共通やり投村上碧海(西条農高1)はインターハイで15位と悔しい思いをした選手である。インターハイ後、国体入賞に向けて力をつけて、1年生ながら6位に入賞した。今年度、高校1年生ランキング1位であり、今後注目選手である。次に躍進した選手の紹介をしたい。少年男子B砲丸投中村一達(安古市高1)は愛くるしい表情を見せる選手で、広島県チームの人気者である。競技では自己記録を1メートル以上更新し4位に入賞した。少年女子B800m山本悠理(大和中3)は高校生との戦いだったが、冷静なレース運びを行い、自己記録を更新して翌日の決勝に進出した。本日は、記載した選手以外にも自己記録を更新する選手がおり、若い力の躍進を感じる1日となった。

小雨の降る中、3種目の入賞のうち2種目で新記録が出た。少年女子A3000mテレシア・ムッソーニ(世羅高2)はラスト1周で後続を大きく引き離すレースをし、県国際新記録でインターハイに続き優勝を果たした。少年女子B800m山本悠理(大和中3)は昨日に引き続き、高校生がいる中、堂々としたレース展開を行い、見事、県中学新記録で8位に入賞した。最後の入賞者は、今年度、日本選手権で優勝し、その他の全国大会でも上位入賞をしている成年女子走高跳神田菜摘(福岡大3)である。

→ 乃美裕介選手(尾道北高)

↓ 村上碧海選手(西条農高)

↓ 浅木都紀葉選手(広島皆実高)

→ テレシア・ムッソーニ選手(世羅高)

→ 山本悠理選手(大和中)

↓ 中村一達選手(安古市高)

→ テレシア・ムッソーニ選手(世羅高)

↓ 山本悠理選手(大和中)

↓ 神田菜摘選手(福岡大)

↑ 神田菜摘選手(福岡大)

応援ありがとうございました!

燃ゆる感動  
かごしま国体  
へGO!

今年は最終日を残して全日程を終了した。大学生の成年選手、高校2年生以下が多かった中高生の力を感じた国体であった。今後の活躍に期待したい。